

## 歴博 くらしの植物苑だより

### 【くらしの植物苑観察会】

会場：くらしの植物苑 東屋 時間：13:30～

第130回 1月23日(土)『出土資料からみたツバキ』 講師：永嶋 正春

第131回 2月27日(土)『造花にこめられた春の祈り』 講師：松尾 恒一

第132回 3月27日(土)『村絵図を持って村を歩こう』 講師：久留島 浩

【今週のみどころ】 <http://www.rekihaku.ac.jp>

### 『冬の華・サザンカ展』開催中！！

開催期間：12月1日(火)～1月31日(日)



ハルサザンカ群「鎌倉絞」



ハルサザンカ群「絞笑顔」



カンツバキ群「曳馬乙女」

#### \*種プレゼント\*

1・2月に入苑されたお客様、先着20名様に植物苑で採集した種をプレゼントしています。

#### \*サザンカの見ごろ\*

くらしの植物苑では、サザンカを鉢植えで管理し、展示しています。理由として、狭い面積でたくさんの品種を管理でき、展示期間中にも花の入れ替えが可能で、開花時期が違うサザンカ群・カンツバキ群・ハルサザンカ群と順に展示替えができるためです。参考までに、くらしの植物苑のサザンカは、鉢植えで10年以上栽培されています。

1月に入り、サザンカ展で展示しているサザンカ群の花は咲き終わってしまいました。1月からは、カンツバキ群やハルサザンカ群の花が見ごろになります。しかし、この時期になると、くらしの植物苑では最低気温が氷点下になることが多く、花が凍って痛んでしまう花がありますがご了承ください。

現在、くらしの植物苑では入苑者の皆様にサザンカの人気投票に参加していただいております。1/24(日)を最終日とし、1/26(火)に東屋・ホームページなどで発表予定です。

どのような結果になるのでしょうか。お楽しみに！！

## 園芸品種の分類と品種群

サザンカは、特性によって、サザンカ群・カンツバキ群・ハルサザンカ群・タゴトノツキ群の4つの品種群に分かれます。

**サザンカ群**：形態、生態的に自生種に近いグループ。10月から12月にかけて開花。一重か二重。樹形は自生種に似て、多くは立性。香りは強い。

**カンツバキ群**：中部地方に古木が多い‘獅子頭’(関東では‘寒椿’と呼ぶ)の実生または後代と考えられるグループ。11月から3月にかけて開花。八重咲きや獅子咲きの華やかな品種が多い。樹形は立ち上がり横張り性のものが多い。香りは弱い。

**ハルサザンカ群**：サザンカとツバキ(主としてヤブツバキとその園芸品種)との種間雑種またはその後代と考えられているグループ。12月から4月にかけて開花。一重から八重や千重咲きまで様々。樹形は立性から横張り性まである。香りはほとんどないものから強いものまである。

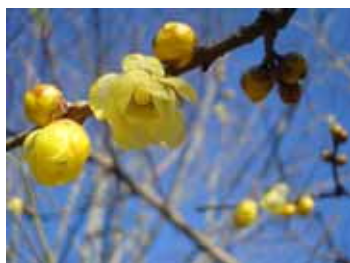
**タゴトノツキ群**：昭和初期からサザンカとして扱われてきたものに‘田毎の月’という品種がある。白色の小輪で、11月頃に咲き、葉は極端に大型で表面に光沢がほとんどない。現在では、この品種は中国原産のユチャの系統と考えられている。香りは弱い。



## 【くらしの植物苑内で咲いている植物】



フクジュソウ



ソシンロウバイ



ロウバイ

その他・・・スイセン・ヤブツバキなどが咲いています。(1/18 現在)